

# その判断、 “みらいから逆算” されていますか

産業廃棄物処理業を取り巻く環境が変化する中、  
経営者の意思決定が、企業の未来を左右します。

確信をもって判断し、行動できる経営へ。

持続可能な成長を描く経営者のための実践ゼミ

## 産業廃棄物処理業 トップマネジメント・ゼミナール

～みらい経営の羅針盤～

[参加型実践ゼミ]

少人数制 × 対話型

講義 × ワークショップ

近年、産業構造の変化や社会的要請の高まりを背景に、産業廃棄物処理業を取り巻く経営環境は、これまで以上に複雑さを増しています。その影響は現場にも及び、さまざまな課題として顕在化しています。

- 人材不足の中で、特定の人に依存した運営から抜け出せない
- 意思決定の場が増える一方で、判断に時間がかかるようになっていく
- 変化のスピードに対して、打ち手の検討が追いつかない

こうした課題は、個別の問題に見えて、実は「意思決定のあり方」に起因する構造的な問題でもあります。だからこそ今、求められているのは、目の前の最適解を積み重ねる経営ではなく

**みらいから逆算して意思決定を行う経営**です。

日々の判断に追われるなかで、「本来あるべき経営の軸」を描ききれないままに  
なっていないませんか。

## 6か月後、経営に起こる変化

- 自社の将来像と言語化された経営の軸
- 成長に向けた具体的な戦略とアクションプラン
- 意思決定における判断基準

理念から実行まで。

経営を“動かす力”を身につける5回。 Curriculum

思想 判断の軸をつくる	現場 視点を広げる	戦略 選択肢を持つ	実行 自社に落とす	実装 継続的に動かす
----------------	--------------	--------------	--------------	---------------

## 講義内容

第1回

2026年10月2日(金)

### 『経営のあり方 ～人を軸にした強い現場づくり～』

企業経営の目的は業績向上ではなく、関係する人々を幸せにすることである。人をトコトン大切にする企業こそが、環境変化に左右されず成果を上げ続けている。本講義では、人を軸にした強い現場づくりを「やり方」ではなく「あり方」から学ぶ。

ワークショップでは自社の現状と課題を深く掘り下げ、明日から着手できる具体策へと落とし込む。経営者同士の対話を通じて、気づきを行動に直結させる実践的なスタート回である。



坂本 光司

経営学者  
人を大切にする経営学会会長

元法政大学大学院教授・徳島大学客員教授。静岡文化芸術大学文化政策学部・同大学院教授、法政大学大学院政策創造研究科教授、同大学院静岡サテライトキャンパス長などを歴任。「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞実行委員長など、国・県・市町村の公務も多数務める。これまでに8,500社以上の企業等を訪問し、調査・アドバイスをを行う。

第2回

2026年11月19日(木)～20日(金)

### 『経営のあり方～現場視察・ワーク～』

視察・宿泊先

春蘭の宿さかえや(長野県山ノ内町渋温泉)

「縁を育む」を理念に、従業員が主体的に動く組織づくりを実践する『春蘭の宿さかえや』を視察する回。戦略会計や自分の活かし方に加え、人的資本のあり方、マネジメントゲームを活用した教育や文化づくりを現場で学ぶ。

経営者・社員との対話を通じて取り組みの背景を深掘りし、ワークショップでは自社への応用策まで落とし込む。現場で体感した学びを、その場で自社の仕組みに変える視察回である。



湯本 晴彦

春蘭の宿さかえや  
代表取締役

早稲田大学政治経済学部卒。外資系コンサルティング会社を経て、家業である春蘭の宿さかえやを継ぐ。長野冬季オリンピック後の景気後退の中、売上の5倍に及ぶ借入を抱え、倒産寸前の危機を何度も経験。その中で、障がい者や不登校の若者の自立支援に取り組み、人的資本を軸とした経営へ転換。近年はブランディング採用により、安定した新卒採用を実現している。

### 第3回

2026年12月17日(木)

## 『生き残りをかけた成長戦略としてのM&Aの有効活用』

近年、生き残りをかけた成長戦略の具体策として、「買い手としてのM&A活用」が注目されている。本講義では、日本のM&A推進財団(JMAP)の代表理事より、産廃業界周辺領域を中心に、M&A市場の動向や実例、自社の強みを活かした判断軸、メリットや落とし穴について学ぶ。

ワークショップでは、企業価値の算出や仮想買収を通じて、シナジーやリスクを検討し、「まず何をすべきか」を明確化する。座学にとどまらず、経営判断としてのM&Aを自社の成長戦略として考える。



白川 正芳

(一財)日本のM&A推進財団  
代表理事

(株)楠本浩総合会計事務所 代表取締役役に2009年就任。顧客の後継者問題を契機に中小企業のためのM&A支援を志し、技術・伝統・文化といった国家資源としての中小企業を守ることを目的に、2014年、日本のM&A推進財団を設立。2022年より代表理事に就任。福岡大学非常勤講師を務め、既存の教育の枠組みを乗り越え、高い次元で思考力を深める教育にも取り組んでいる。

### 第4回

2027年1月14日(木)

## 『AI活用・データドリブン経営の基礎』

本講義では、AI・生成AIの基礎から業務での具体的な活用事例、企業ノウハウを組み込んだカスタム生成AIの活用までを体系的に学ぶ。経験や勘に頼る経営から脱却し、判断の質とスピードを高める視座を養う。グループワークでは、産業廃棄物処理業における成長戦略やM&Aを題材に、AIとデータを用いた検討を実践する。単なる知識習得にとどまらず、AIを経営判断の壁打ちツールとして使いこなす感覚を身につける。



佐々 裕一

中小企業診断士

1981年に信州大学工学部情報工学科を卒業後、東京エレクトロン(株)に入社。その後、同社からスピンアウトし、仲間とともに半導体・電子機器の設計・テスト・解析サービス会社を経営。これまでの経験を活かした中小企業支援を志し、2018年に中小企業診断士として登録。現在はM&Aシニアエキスパートとして、技術と経営の両面から中小企業の支援を行っている。

### 第5回

2027年 (A)2月4日(木)~5日(金) (B)2月16日(火)~17日(水) (C)3月3日(水)~4日(木) (A)~(C)いずれかの2日間

## 『人が変われば会社は変わる』 経営者と役員、または後継者の各社2名でご参加いただくことをお勧めします。

企業を永續させるためには、「計数」と「人」の両輪を整えることが不可欠である。本回では、決算書に表れる数字の背後にある、経営者の思想や社風、社員意識といった本質的要因を読み解く。事前の自社の決算分析や社風分析、当日の自己分析を通じ、経営の課題を可視化する。

経営者と役員、または後継者の2名で参加し、3~5年先を見据えた改善計画を策定する。本ゼミの集大成となる、自社変革に直結する実践回である。

※事前に4期分の決算書と社風調査アンケートをご提出いただきます。



紅本 亘

NBCコンサルタンツ株式会社  
専務取締役

中小企業指導の専門コンサルタントとして、小規模から中堅企業まで幅広く支援。NBCグループ役員として管理会計や人事評価制度の策定も担う。中小企業の弱点である「計数によるマネジメントの強化」と「社員教育の徹底」により、会社を変え、強い企業基盤を作ることを指導理念とし、労働分配率経営や事業計画、原価管理、新規事業立上げなどで業績向上を支援し、多くの経営者から信頼を得ている。

## スケジュール

2026年10月~2027年3月にかけて、全5回で実施します。

- 第1回 | 2026年10月2日(金)13:30~17:30
- 第2回 | 2026年11月19日(木)13:00~20日(金)12:00
- 第3回 | 2026年12月17日(木)13:30~17:30
- 第4回 | 2027年1月14日(木)13:30~17:30
- 第5回 | 各社2名参加 (A)2027年2月4日(木)10:30~5日(金)17:30  
(B)2027年2月16日(火)10:30~17日(水)17:30  
(C)2027年3月3日(水)10:30~4日(木)17:30  
(A)~(C)いずれかの2日間 ※希望を伺った上で調整させていただきます

## 開催概要

### 【対象】

原則、産業廃棄物処理業を営む企業の経営者  
※本ゼミナールは、自社の将来像を描き、  
意思決定の質を高めたいと考える方を対象としています。

### 【期間】

2026年10月～2027年3月

### 【回数】

全5回(原則月1回開催)

### 【会場】

公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目1-18  
ヒューリック虎ノ門ビル10階

### 【現場視察(第2回)】

渋温泉 春蘭の宿 さかえや  
〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏2171  
TEL:0269-33-2531

### 【開催形式】

対面開催(オンライン受講不可)

### 【定員】

16名

### 【受講料】

550,000円(税込)



### 【支払方法】

請求書を送付いたします。全額前納とし、  
納入後は事情にかかわらず原則返金はいたしません。  
※事前課題で使用する書籍代および交通費・宿泊費は、  
別途ご負担いただきます。  
※一定の申込人数に満たない場合、  
開催を見合わせる場合がございます。

## 申込方法

QRコードまたはURLより申込用紙をダウンロードし、  
必要事項をご記入の上、下記までメールにてご提出ください。

申込締切 2026年7月31日(金)



<https://www.sanpainet.or.jp/service104.php?id=47>

本ゼミナールは、知識を得る場ではなく、  
“意思決定を変える場”です。

未来を変える第一歩を、ここから。

お問い合わせ

公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目1-18 ヒューリック虎ノ門ビル10階

TEL:03-4355-0155

事務局:武田・兼子・青木

MAIL:com@sanpainet.or.jp